

南太平洋諸国のJICA研修生の皆さん

2009年11月9日

フィジー・サモア・ソロモン諸島・トンガ・バヌアツの5ヶ国から研修生5名と
コーディネーター・通訳の方、計7名が当センターに来所されました。

研修テーマは、「多様化による沿岸資源の持続的確保」、とのことです。



研修生の皆さん



沖縄の養殖と栽培漁業センターの概要、魚介類の種苗生産方法についての説明に
熱心に聞き入る研修生の皆さん。



説明終了後、施設見学へ。種苗生産水槽の底掃除機に感動??



海面生簀へ。





生簀の魚の興味津津。大きな親魚を指さして、Huge!



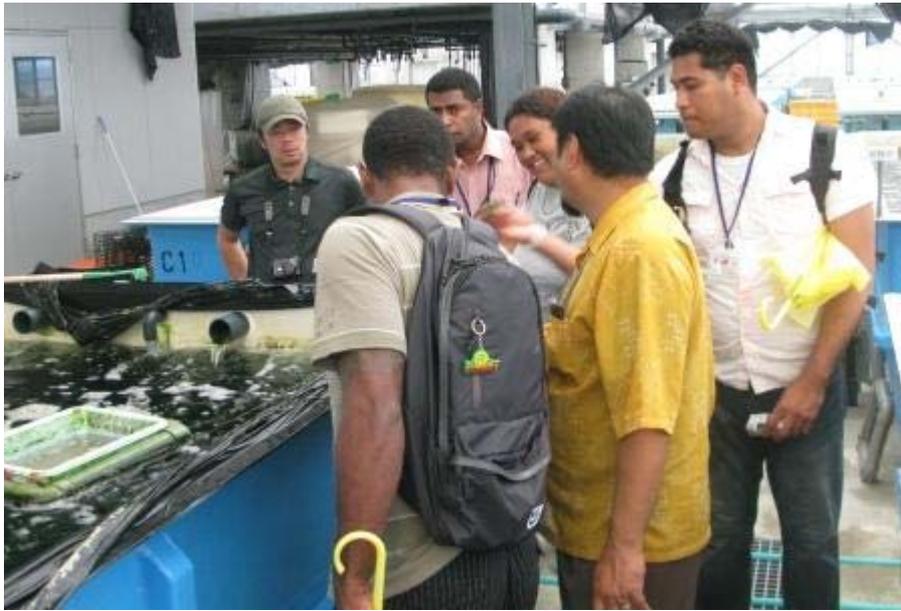
取水井戸とポンプ室を見学。



ヒメジャコの親貝(左)と稚貝(右)を観察。



タカセガイの稚貝を写真撮影中。



シラヒゲウニの餌用海藻(アオサやオゴノリ)の培養水槽で。



シラヒゲウニに興味津津。



シラヒゲウニに与える陸草も撮影。

皆さん、当センターの施設の大きさに驚いていました。

とても真面目な研修生の皆さんでした。

お疲れ様でした。